

認定かかりつけ 基準薬局リスト

秋田中央支部

まこと調剤薬局	☎018-853-6277	☎853-6288
みさき調剤薬局	☎0185-22-1102	☎22-1103
アイ薬局	☎018-853-9821	☎863-5851
青山薬局秋田駅前ピコ店	☎018-832-6472	☎833-7188
あかね調剤薬局 中通病院前店	☎018-893-5110	☎893-5109
アルヴェいわま薬局	☎018-884-0911	☎831-0911
勝又薬局	☎018-834-3240	☎834-3260
グリム薬局	☎018-832-0385	☎832-0385
今薬局	☎018-833-2205	☎832-6481
さわやか薬局新屋店	☎018-888-8371	☎888-8372
山王薬局	☎018-863-6132	☎823-0013
すずらん薬局	☎018-857-0770	☎857-1616
すずらん薬局 新屋駅前店	☎018-874-9314	☎874-9324
すずらん薬局 泉店	☎018-869-7780	☎869-7781
すずらん薬局 港北店	☎018-816-0301	☎816-0305
すずらん薬局 土崎店	☎018-880-2101	☎880-2102
すずらん薬局 厚生医療センター前店	☎018-857-5777	☎857-5200
すばる薬局	☎018-857-1422	☎845-1545
専仁堂薬局	☎018-835-4645	☎835-4649
外旭川いわま薬局	☎018-893-6555	☎893-6556
中通六丁目薬局	☎018-834-6037	☎831-6909
那波薬局八橋店	☎018-863-1521	☎863-2788
ハーモニー薬局	☎018-831-3911	☎831-3912
東通いわま薬局	☎018-827-3300	☎827-3301
ほどの薬局	☎018-865-2535	☎865-2535
みどりさわやか薬局	☎018-866-7571	☎866-4255
みゆき調剤薬局	☎018-892-6789	☎892-6781
薬局エール 自衛隊通店	☎018-847-3991	☎880-1252
山田相談薬局	☎018-863-0063	☎865-3288

地域の皆様のために新しく作られた
「認定かかりつけ基準薬局」です



新マーク

処方せんの有効期限は
処方日を含めて4日間です。

秋田県薬剤師会

秋田市千秋久保町6-6 TEL.018-833-2334
E-mail info@akiyaku.or.jp http://www.akiyaku.or.jp



インフルエンザと

その予防について

インフルエンザと

一般的な風邪症状の違い

一般的な風邪症状の多くは、喉の痛み、鼻汁、くしゃみや咳等の症状が中心で、全身症状はあまり見られませんが、インフルエンザは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的早く現れます。その他、一般的な風邪症状と同じように、喉の痛み、鼻汁、咳等の症状も見られ、季節性インフルエンザは流行性があり、日本では、例年12〜3月が流行シーズンです。

インフルエンザに

かからないためには

① 流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンは、接種すればインフルエンザに絶対にかからない、というものではありませんが、ある程度発病を阻止する効果があ

り、また、たとえかかっても症状が重くなることを阻止する効果があります。

② 飛沫感染対策としての咳エチケット

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から飛せられる小さな水滴による飛沫感染です。そのため、飛沫を浴びないようにすればインフルエンザに感染する機会が大きく減少します。

インフルエンザウイルスに感染した場合でも、感染者全員が高熱や急性呼吸器症状を呈してインフルエンザと診断されるわけではありません。たとえ感染者であっても、全く症状のない例や、感冒様症状のみでインフルエンザウイルスに感染していることを本人も周囲も気が付かないほど軽症の例も少なくありません。

以上のことを踏まえ、インフルエンザの飛沫感染対策をご紹介しますと、
(1) 普段から咳エチケットを心掛け、

咳やくしゃみを他の人に向けて発しない。

(2) 咳やくしゃみが出る時はできるだけマスクをする。

(3) 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗う。

これらのことを守るよう心掛けてください。

③ 外出後の手洗い等

流水・せっけんによる手洗いは有効な方法であり、インフルエンザに限らず接触や飛沫感染などを感染経路とする感染症の対策の基本です。

また、インフルエンザウイルスには、アルコールによる消毒も効果的です。

④ 適度な湿度の保持

空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度(50〜60%)を保つことも効果的です。

⑤ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日頃から心掛けましょう。

⑥ 人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザが流行してきたら、特に高齢の方や定期的な受診をしてお薬を飲んでいる方等は、できるだけ人混みや繁華街への外出を控えましょう。やむを得ず外出して人混みに入る可能性がある場合には、不織布製マスクを着用することは一つの防御策と考えられます。ただし、人混みに入る時間は極力短くしましょう。

インフルエンザに

かかってしまったら

一般的に、インフルエンザ発症前日から発症後3〜7日間は鼻や喉

からウイルスを排出するといわれています。そのためウイルスを排出している間は、外出を控える必要があります。

参考までに、インフルエンザは学校保健安全法で定められている感染症で、幼稚園や学校においては「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児にあっては、3日)を経過するまで」をインフルエンザによる出席停止期間と定められています。

(こまち薬局福田店 川島和典)